

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(制御室建物の地震応答計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/9	NS2-補-023-10	補足説明資料	建物の地震応答解析モデルについて(地震応答解析における建物基礎底面の付着力)	P.7	基礎スラブの応力解析において地盤ばねを線形ばねとする場合について、水平方向及び鉛直方向の荷重の組合せ、弾塑性解析の影響を説明すること。	今回回答	制御室建物における基礎浮上りが発生しないために必要な付着力について、水平方向及び鉛直方向の地震力を組合せ係数法(組合せ係数は1.0と0.4)で考慮して算定した結果、付着力試験に基づき設定した付着力(0.40N/mm ²)を超えないことを確認しました。また、必要付着力の算定における組合せ係数法について時刻歴和による評価との比較を行い、組合せ係数法の適用性を確認しました。なお、制御室建物の基礎スラブにおける荷重の組合せ及び弾塑性解析の影響については、VI-2-2-6「制御室建物の耐震性についての計算書」において説明します。	NS2-補-024-02「制御室建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」別紙2(通し頁P.14~30) NS2-補-025-22「建物・構築物の耐震評価における組合せ係数法の適用」	コメント移動
2	2022/2/9	NS2-補-023-10	補足説明資料	建物の地震応答解析モデルについて(地震応答解析における建物基礎底面の付着力)	P.7	廃棄物処理建物等について、ジョイント要素(付着力考慮)を用いた3次元FEMモデル等を採用するに至ったプロセスを各計算書の補足説明資料において説明すること。	今回回答	制御室建物について、浮上り線形SRモデル(付着力考慮)を選定したプロセスに関する計算結果を補足説明資料に整理しました。	NS2-補-024-02「制御室建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」別紙5(通し頁P.501~506)	コメント移動